

日本共産党 さいたま市議会議員

# 松村 としお

生活相談 第1・第3水曜日 午後3時～5時

法律相談 第3水曜日 午後3時～5時  
弁護士が相談にのります

無料

お問い合わせ・お申し込み  
松村としお事務所 TEL・FAX 874-9666  
緑区三室2713-4  
市議団控室 ☎829-1811

松村としお  
ブログ



日本共産党さいたま市議団  
さいたま市浦和区常盤6-4-4(さいたま市役所内)

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
ホームページ <http://www.jcp-saitama.jp/>



## ●羽田航路地図 国土交通省資料より

南風時の運用は、年間の約4割と推定(さいたま市上空では着陸機のみ)  
運用時間:15時～19時(切替時間を含むため、実質3時間程度の運用)  
※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用  
※現行経路(南風運用)では、全ての着陸便が千葉県上空を通過しています  
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



水色:悪天時

緑色:好天時

## 危険がいっぱい! 羽田空港着陸新ルートは見直しを

羽田空港着陸ルートが3月29日から変更されました。南風時(年間約4割)の15～19時に1時間あたり14機もの飛行機が、緑区の上空を通過して都心上空を降下しながら羽田空港に着陸するルートです。住民からは大型の飛行機が人口密集地を飛ぶことへの不安、落下物や騒音、大気汚染への対策を求める声があがっています。私はルート変更が公表された2016年以降、市民の安全を守る立場から、国に安全対策や着陸新ルートの見直しを求めて国土交通省に要望し、市に対しても議会質問を繰り返してきました。

2月初旬には新ルートでの試験飛行が行われ、私のもとにも騒音への苦情など問い合わせ

せが相次ぎました。この声を受けてまちづくり委員会で質問したところ、市への問い合わせが26件あったことが明らかになりました。また、都内では開かれた説明会が、さいたま市では開かれておらず、国交省は「パネル展示が説明会」という不誠実な態度です。私は「教室型説明会を開くことを国に求めよ」と迫り、市は「伝える」と答えました。落下物対策にしても国は「対策をとる」と説明しますが、実際には航空機からの落下事故が相次いでいます。都心では低空飛行になることから騒音が問題になっています。引き続き、市民の安心・安全を最優先に、飛行ルートの見直しも含めてとります。

## 芝川・綾瀬川流域への 水害対策を急いで

昨年の台風19号で見沼田んぼや周辺の道路、住宅地が広範囲に冠水しました。緑区革新懇が638人の署名とともに、調節池工事の前倒し実施や洪水ハザードマップの改善・配布、農作物への被害補償、防災無線戸別受信機の無償貸与などを求める請願を2月議会に提出しました。私はいずれも当然やるべきことと考え、請願の採択を求めましたが、他会派の反対で不採択になりました。

地球温暖化がすすむもとで台風・豪雨災害が激しくなる傾向にあります。安心・安全のまちづくりに向け引き続き全力をつくします。

## 給食費・国保税が負担増

## 市民負担は 軽くできる!



昨年10月に消費税が10%に増税され、くらしも経済もますます厳しくなっています。私の議案に対する質疑に対して、市は2020年度の市民所得も企業業績も下がる見通しを示しました。ところがさいたま市は

国保税と小・中学校の給食費を4月から値上げします。市民のくらしを直視してくらしを支える施策こそ進めるべきです。

学校給食費の値上げ分を保護者負担にしないことを求める請願が緑区の子育て世代のみなさんから出され、紹介議員になりました。1日限りのイベントに毎年数億円使うくらいなら、子育て世代の負担増回避を優先すべきです。しかし、残念ながら他会派の反対で不採択となりました。

また私は予算委員会で水道・下水道会計について質問し、大幅黒字と内部留保を活用して高すぎる上下水道料金を値下げするよう求めました。

税金・公共料金の使い方を見直せば、くらしを応援する施策は実行できます!